

## 大正地区 総合防災訓練

9月9日(日) <<大正小学校体育館>>

当日は、秋雨前線が停滞し、大雨警報が出る中での開催でしたが、各地区、各種団体等から140名ほどの参加がありました。



7月、大正地区に「避難指示」が発令されるなど、避難所への避難が現実的な課題となってきたことから、避難所での生活が不快なものとならないよう、どのように運営したらよいかを学ぶ訓練を実施しました。

実際に避難所を運営する訓練を行うことはでき

ませんので、カードゲームで運営をシミュレーションし、課題・問題の把握や、事前の練習に役立てようと開発されたのが、今回行ったHUGゲームです。

最初に、ゲームのやり方について、プロジェクターを使って説明があり、その後、12のチームに分かれ、防災リーダー等の支援も受けながら、避難所運営ゲームの体験を行いました。

参加者からは、「避難所運営の難さが良く分かった。」との声も多く聞かれました。今回の訓練が、避難や避難後の対応について、各地域や各家庭で検討される参考になれば幸いです。



## まちづくりグラウンドゴルフ大会

11月11日(日) <<大正小学校校庭>>

地域の皆さんの親睦をはかり、交流を深めるとともに、健康づくりに役立てるため、誰でも気軽に参加し楽しめるスポーツの大会を企画しています。



例年、グラウンドゴルフを行なっており、大会では、ホールインワンに歓声が上がったり、美技を称えあったりと、和やかな交流があちこちで見られました。

優勝：西垣一夫さん(古海上)  
2位：長尾吉之さん(古海上)  
3位：河内 操さん(野寺)

## いきいき地域づくり交流会

12月1日(土) <<大正地区公民館>>

耐震工事のため、昨年度は旧大正保育園で開催されましたが、今年は公民館での開催となりました。

各種団体・グループ等から、昨年度を上回る多くの方に参加いただき、盛大な交流会となりました。



## 安全安心まちづくり講演会

12月11日(火) <<大正地区公民館>>

「子どもを守る 地域住民による効果的な見守りとは」と題して、鳥取警察署西川係長さんを講師に講演会を開催しました。

子どもたちの登下校時における防犯対策の必要性が高まっており、地域での見守りが、防犯の効果が高いといわれています。

このため、地域での見守りをどのように行っていくか、早急な検討が求められており、その一助とするため開催しました。

講演の中では、特別に見守りを行うことは大変なことであり、何かをしなう、何かのついでに見守りを行なう、「ながら見守り」が取り組みやすいのでは、とのお話がありました。



# ほっと大正まちづくり協議会ニュース

2019.3

No.50

(H) 本気モードで (O) おもしろい(楽しい) (T) 取組みを!!

事務局 大正地区公民館 (TEL 26-3982)

## 皆で進めよう 安全安心で魅力ある住みよい大正づくり

ほっと大正まちづくり協議会は、平成22年に設立され、まもなく10年が経過します。この間、協議会は次のことを目指して活動してきました。

- 地域のまとまりと住民同士のふれあいや連帯づくり
- 安全安心な地域づくり

地区の皆様には、協議会や協議会が実施しました各種事業へのご理解、ご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

大正地区で活動されている、各種組織や団体、グループの皆さんと、連携を図りながら、円滑に事業を進めていくことができました。

今後の活動につきましても、さらなるお力添えをいただきますよう、お願いいたします。

## 来年度へ向けた取組み

協議会をめぐる環境は変化してきています。また、協議会に対する地区の皆様への認識も高まってきています。このため、10年目を迎えるにあたり、体制の簡素化等を図るため、一部変更を行なうとともに、現在の事業の基本となります「大正地区地域コミュニティ計画」の見直しを行なっていきたいと考えております。

## 重点的な課題

昨年7月には、千代川の氾濫危険性が高まったため、大正地区に「避難指示」が発令されました。大正地区においても、災害は身近にあり、避難も現実となったことを改めて認識したところです。

また、通学途中の子どもたちが被害を受ける犯罪も、発生しています。

協議会では、これまでも、安全安心な地域づくりを大きなテーマとして取り組んできましたが、防災・防犯の取組みの重要性が一層高まっていると感じます。

新年度を迎え、小学校では新しい一年生を迎えます。登下校時の防犯対策は、何といたっても、地域の見守りが重要です。協議会としても、重要な課題として取り組んでいきたいと考えております。





## 安全安心な通学 “ながら見守り”

子どもの頃の通学路は、友だちとの楽しい時間を過ごす場所でした。時には、遊び場になったりもしました。

早春には、青い小さくて可憐な花を咲かせるオオイヌノフグリが、最初に道端に現れます。大きくなって名前を知って、あの花には別の名前が良かったのにと感じたものでした。

その後、つくしが現れ、本格的な春には、シロツメクサの群れができます。やがて土手には、菜の花が一斉に咲きそろう、夏には月見草も一面に咲きました。

こうした風景は、幾つになっても忘れられない思い出です。

周りの農地では、米の栽培時期は当然のことですが、春先から、



麦や菜種、レンゲが農地をカラフルに彩り、誰かの姿が必ず見えたものです。

地域の方々に見守られる中で、私たちは伸び伸び育ち、小学生としての豊かな生活を送ることができました。しかし、近年、社会や生活の状況が変わり、また、少子化ということもあり、地域と子どもたちとの関係が少しずつ弱まってきているように感じます。特に最近問題となっていることが、登下校時に犯罪等に巻き込まれる事件の発生です。



新一年生には、防犯ブザーがプレゼントされるようですが、身を守る対策とともに、地域のみならず、子どもたちを見守っているという仕組みが、こうした事件の防止にとっても有効です。しかし、義務として見守りを行なうことは大変で、長続きしません。

昨年12月に開催しました、「安全安心まちづくり講演会」で、ながら見守り、が子どもたちの防犯のためには、一番良いのではとの提案がありました。

日頃、通学路周辺を散歩されている方は、都合が付けば、下校時間にあわせて散歩していただくとか、農作業や家の周りの掃除などを、子どもたちが帰って来る頃に行なうとか、その頃に窓を開けて外を眺めるとか、何かをするついでに、周りに子どもたちを見ている目があるよ、ということを認識させることが、防犯に役立つということです。特別に行なうのではなく、何かのついでに、何かをしながらいながら見守りなので、ながら見守り、と言います。地域の皆様に、御協力いただければ幸いです。



## 防犯にも役立つ

# あいさつ運動の推進

平成27年に「大正地区あいさつ運動実施アピール」を作成し、地区をあげて「あいさつ運動」に取り組んでいます。

この取組みを大正地区内外に周知し、あいさつ運動のさらなる実践につなげるため、昨年度、各地区に設置する看板を作成しました。

まだ、少しですが余部がありますので、ご希望のある地区はお申し込みください。

**大正地区 あいさつ運動 実施アピール**

大正地区は、安全・安心な地域づくりを目指し、地区をあげてあいさつ運動を推進します。

**あいさつで、心のふれあう、思いやり溢れる地域づくり**

- あいさつは相手の存在を認め、思いやる愛の表現です。
- あいさつは人と人の心をつなぎ、地域を一つの家族とします。
- あいさつは地域に向く人々の目(地域の目)を輝かせます。
- あいさつで育てた地域の目が、安心感に包まれた犯罪が起これにくい地域をつくれます。

**「新しいきつで、うまれる人の町 地域の輝き」**

- 地域の活性化には、地域を愛する心が必要です。マナーとしての挨拶です。
- 挨拶が心をつなぐ「心のふれあう」は、地域を「上」にするための第一歩です。
- 挨拶が心をつなぐ「心のふれあう」は、地域を「上」にするための第一歩です。
- 今年、挨拶を待たずに挨拶する人が、地域を「上」にするための第一歩です。
- 挨拶を待たずに挨拶する人が、地域を「上」にするための第一歩です。

平成27年10月  
ほった大正まちづくり協議会

## 平成30年度の主な活動内容

### 大運動会

5月13日(日) 《大正小学校体育館》

朝から、あいにくの雨で、小学校の体育館での開催となりましたが、多くの皆さんの参加をいただき、例年にも増して熱気あふれる運動会となりました。慣れない、狭い場所での開催となりましたが、12種目に縮小して行なわれた競技では、各地区の対抗種目を中心に熱戦が繰り広げられました。



総合成績

優勝：徳尾  
2位：古海  
3位：菖蒲

毎年の積み重ねが、地域の皆様の絆を強め、一体感のある地域の醸成につながっていました。老朽化が進んでいた入場門の更新が課題となっていました。地区内で事業されていた企業からの寄付もあり、バルーンアーチの入場門を購入しました。体育館での披露となりましたが、その後の夏まつり、公民館まつり等でも活用しています。

### ほっとヨイ！ヨイ！夏まつり

7月28日(土) 《大正地区公民館駐車場》

台風の影響が心配されたため、開始時間を午後5時に、終了時間を午後8時に変更し開催しました。時間を短縮したため、一部の行事を中止し、テント等も設置しないでの開催でしたが、賑わいのある夏まつりとなりました。

幸いなことに台風の影響は遅くなり、大正保育園児と大正地区児童有志のそれぞれの傘踊りで、オープニングを飾っていただきました。

各種の食べ物コーナーや、子どもたちに人気の遊びのコーナーなど多くの皆さんで長蛇の列となり、大いに楽しんでいただけたようです。有志の皆さんによる「さくら会」の踊りや大抽選会などのアトラクションに続き、昨年も出演いただいた、よさこいチーム満天星(どうだんつつじ)がきれいな演舞と鳴子の音で観衆を魅了され、最後に花火で名残を惜しみながら、心配された雨もなく、夏祭りを終えることができました。

